

エクステンジプログラム報告書

1. 被招へい者（被派遣者）全員の氏名・所属・身分とそれぞれの滞在期間・滞在先
佐藤修二 名古屋大学理学研究科 教授

2012年2月29日（水）～3月4日（日） 4泊5日

2. 受け入れ担当者の氏名・所属・身分
Chen Wen Ping 国立中央大学 教授

3. 招へい（派遣）の目的（200字程度）

前回（2010年6月）前々回（2011年2月）の訪問で観測装置：3色（g' r' i'）偏光カメラ TRIPOL の提案を行い、その後の進捗状況を報告したが、今回訪問の目的は、昨年台湾・鹿林天文台で行った試験観測の結果を討議することである。

- (1) 29日（水）TRIPOL 開発の状況について Chen 教授と議論※（下記）
- (2) 01日（木）コロキウム：題目『A view of photometry in astronomical observation』
添付ファイル参照
- (3) 02日（金）チェン教授の院生（Bo He Suu 蘇柏合）とデータ解析結果について討論

4. 成果報告（用紙が不足の場合は足してください）

3月1日、昨年6月および8月に鹿林天文台・1m 望遠鏡で行った偏光観測を、Bo He Suu 蘇柏合が解析した結果を、私がコロキウムで発表した。

その解析結果は、装置偏光および偏光効率、ともに所期の性能に適合していることを確認した。また、実際の科学目標と予想されるオブジェクト 20 天体に関する予備測定の結果もかなり有望であることを確認した。

@鹿林天文台 TRIPOL

共同試験開発およびリスクシェアを基本として、そのコストはそれぞれが負担する。

CCD 3 台を含まずに 3 色撮像カメラ 120 万円、3 色偏光部 150 万円の予算であった。

※『上記にさらに CCD (SBIG ST-9 XEi) 1 台 25 万円 x2 台分が必要となる』とある、この分の費用分担について協議したが、打開案が見当たらない。